

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、その「はじめの一步」のきっかけになるような記事を掲載しています。



## 「宇美町ボランティア・町民活動支援窓口」が移設され、 宇美町ボランティア・町民活動支援センター になります！

7月4日(月)より うみ・ハピネスの円形の部分(旧デイルーム)に窓口の業務が移り、センターとなって自由に集えるスペースが確保されるようになります。もちろんこれまでどおりに、情報の発信、講座や交流会など、町民の皆さんのボランティア活動や営利を目的としない自主的な活動を支援していきますので、どうぞ活用してください。開館日や時間などの詳細は、次回のざっくポランに掲載いたします。皆さんが気軽に立ち寄れるセンターをめざしていきます！

つきましては、**宇美町ボランティア・町民活動支援センターの愛称を募集**いたします。

宇美町らしい雰囲気、皆さんが呼びやすく、覚えやすい愛称をつけていただきたいと思います。皆さんのアイデアでオリジナルな名前をお願いします。応募用紙・応募箱は、宇美町ボランティア・町民活動支援窓口(うみ・みらい館2階)に用意してあります。住所・氏名・電話番号が明記されていれば、紙片で応募できます。締め切りは、**6月10日(金)**まで。素敵な名前を考えてくださった方の中から、抽選で1名様に記念の品を差し上げます！

## 今 私たちにできること・災害ボランティア基礎研修に学ぶこと

3月27日(日)、福岡県NPO・ボランティアセンターで災害ボランティア基礎研修が行われ、午前の部は福岡市とその近隣からおよそ150名の方が集まりました。

東日本大震災への支援活動を考えている方々に向けて、活動の心構えや準備、ボランティアニーズの現状などが話されました。また、私たちが福岡にいてもできる支援や、これから長期にわたって支援を続けていく上で知っておきたいことを学ぶことができました。参考にしてください。



### ◆災害ボランティアとは・被災者本位、地元主体、無理をしない

誰もができる専門性を問わない活動(避難所の手伝い、炊き出し、仕分け・配送など)と、ある程度の知識や専門性を要求される活動(電気工事・修理、医療・介護、通訳など)があります。留意点としては、

- 自分のことは自分で管理し、被災地の負担にならないようにする。
- 単独行動は控え、できるだけボランティアグループや団体の一員として、リーダーに判断を仰いで参加したほうが活動しやすく、また自分自身も安全である。
- 職場や学校を休むことになるので、周囲の理解を得て、心配をかけないようにする。
- 被災者の方に対する言葉遣いに気をつける。

### ◆福岡でもできる後方支援・日常的に 継続的に

- 自分自身の日常の仕事や活動をしっかりやること。
- 被災地に関心を持ち続けること。
- 《募金》義援金とは、被災者への見舞金で、全額を公平に配分されます。

活動支援金というのは、NPOや社会福祉協議会などに対して預けられるお金で、その活動の支援に使われます。

ほかにも、被災した自治体に寄付をするという方法もあります。想いの伝わる方法を選んで募金をしてください。

※東北地方の復興には、長期にわたって支援が必要になってきます。状況が変わると支援のニーズも変わってきます。常に新しい情報に心を配り、できる範囲内でボランティア(自発的な)支援をお願いします。



**編集後記：**ボランティアという文字をテレビや新聞で見ない日はありません。多くの人が震災で被災された方に、「何かしたい」という思いを持っているからだと思います。ボランティアで現地へ行くことはなかなか難しいけれど、できることがあつたらすぐ動けるように、まずは健康で元気に毎日の生活を送りましょう。K. E